

居心地のいい学校

7月に入り、蒸し暑い日が続いています。京都市内では、祇園祭が行われており、17日には4年ぶりに山鉦巡行が通常通り執り行われました。梅雨明けも間近となり、京都も夏本番を迎える時期となりました。

今日で1学期が終わりました。保護者の皆様、そして地域の皆様には、1学期間、本校の教育活動にご支援、ご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

明日からいよいよ夏休みが始まります。4月の始業式、入学式では「挑戦する気持ちを大切にしてほしい。」、「あいさつを始まりとした人との出会いを大切にしてほしい。」という2つの話をしました。

この1学期を振り返ってみますと、登下校時、給食の配膳室、校内ですれ違うときなど、学校生活の様々な場面で、明るく笑顔であいさつを交わす生徒がたくさん増えました。これからも「あいさつ」がいっぱいの西ノ岡を続けてほしいと思います。

13日（木）、14日（木）には、3年生を対象に『いのちの学習』を実施しました。元奈良女子大学大学院非常勤講師で文部科学省の委員をされている阪中順子先生にお越しいただき、『「きょうしつ」で考える心の危機』というテーマで講義をしていただきました。思春期に揺れ動く子どもの心理や一人一人が大切な存在であることについて、生徒も教師も一緒になって考えました。

人は誰でも、多かれ少なかれ心の中にいろんなストレスを抱えて生きています。そういったストレスからくる悩みの対処法として、心の不調を感じたときは、けっして一人で抱え込まず、信頼できる大人にSOSを発信することが大切であることを学びました。



①きづいて ②よりそい ③うけとめて ④しんらいできる大人に
⑤つたえよう ……『きょうしつ』

西ノ岡中学校は、各学級、各学年そして全校生徒 373名がお互いに助け合い、支え合って生活している『中学校』という一つの社会です。その社会で、それぞれの人が尊重されて過ごすために大切なことは、自分も他人（ひと）も一人一人がかけがえのない大切な存在であることを、しっかりと認識することです。



明日より乙訓地方中学校体育大会（夏季大会）が始まります。3年生にとっては、これが中学校最後の公式試合となります。また、吹奏楽部は8月5日（土）に京都府吹奏楽コンクールに出場します。各部ともチーム一丸となって、これまでの練習の成果を発揮し、最後まで、けっしてあきらめない全カプレーを期待しています。

それぞれに 35 日間の夏休みを有意義に過ごし、2学期の始業式には、また全校生徒の元気いっぱいの笑顔が見られることを楽しみにしています。

校長 岡本 英明
学校だより夏休み前号より